



いわみ

議会だより

No.150

令和4年2月1日発行

お願い
成人式会場には、
対象者以外の入場



12月定例会

- 2 新年のごあいさつ、主な議案の概要と質疑
- 4 請願等の結果・賛否の状況
- 5 8議員が町政を質す
- 14 150号記念特集
- 18 新成人に聞きました

目は口ほどに
物を言う!と言います。

コロナワクチン3回目

1月20日から順次接種開始



急がれる3回目接種

12月定例会

12月定例会を、12月21日から23日まで、3日間の会期で開きました。
 一般会計補正予算など、町長提出11議案のすべてを、原案どおり可決しました。

主な議案の概要と質疑

(注) 質疑応答は、常任委員会と全員協議会を含みます。

一般会計等補正予算

4億8093万円を増額して、予算総額を75億3007万円とした。

歳出の主なもの

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

4151万円増額
 18歳以上の方を対象に、接種終了から8か月以上経過後順次接種券を郵送。

子育て世帯への臨時特別給付金事業

1億5489万円
 児童手当受給者など子育て世帯の生活を支援するため、子ども1人当たり10万円を現金一括給付することにした。

新生児及び高校生だけを養育する世帯は申請手続きが必要。

問 中学生以下は、みな対象となるか。18歳以下は高校生だけで、浪人生や予備校生は対象とされないか。

答 15歳以下で3年9月分の児童手当の対象となる児童と高校生に限らず、学校に行っていない者も対象となる。

働いている者も親が養育していれば対象となるが、結婚し配偶者がいる者は対象外だ。

ふるさと若美まちづくり基金積立金

4000万円増額
 ふるさと納税収入額の増加に伴う増額。
 3年度予算総額、1億2001万円。

ふるさと納税推進費

1959万円増額
 ふるさと納税収入額の増加に伴う、返礼品の送付に係る経費などの増額。

条例改正など

過疎地域における特定業種の設備投資に係る固定資産税の課税免除

過疎地域持続的発展計画の策定に合わせ、過疎地域の持続的発展に資する産業振興をより効果的に促進するため、地域企業の持続性を高める観点から、課税免除の内容を見直し延長する。

議員発議

議会会議規則の一部改正
 協議及び調整の場として、新たに正副委員長会議を加えた。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正

新たに正副委員長会議を協議及び調整の場として加えることに伴い、費用弁償の対象とした。

新年のごあいさつ



議長 足立 義明

新年明けまして
おめでとございます。
ます。

町民の皆様には、
輝かしい新春を迎
えられたことをお
慶び申し上げます。

昨年中は、町民
の皆様のご支援とご協力により、公
務に励むことができましたことを議
員一同、心から深く感謝とお礼を申
上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年から
続く新型コロナウイルス感染症の
拡大という世界規模での災害に直面
し、非常に難しい議会運営を迫られ
た一年でした。

新型コロナウイルス感染症の拡大
の影響により、さまざまな議会活動
が著しく制限され、議員活動の自粛
も余儀なくされました。そのような
中ではありましたが国に対し、『コ
ロナ禍による厳しい財政状況に対処
し地方税財源の充実を求める意見
書』の提出など、時期を逸すること
なく一つひとつ対応していくことが
議会の責務であり社会的使命と考え、
議会活動を展開して参りました。

また、私が議長に就任して以来、

町民の皆様には議員一人ひとりの活動
が見え、分かりやすい議会に努め、
開かれた岩美町議会をめざして一生
懸命努力しているところがございます。
一般質問や議案審議の様子を
ケーブルテレビで生放映し、議案の
説明資料をホームページに公開する
など、情報公開の取り組みも進めて
おります。

本年は改選の年であり、町議会議
員選挙が7月に執行されます。議会
は町民の皆様を代表し、町民の総意
を町政へ反映させる大事な役割を
担っています。

議員の任期も残り約半年となりま
したが、町民の皆様からのご意見を
丁寧に向い、議会が一丸となって、
行政側と活発な議論を進めて参りま
すので、一層のご支援とご協力をい
ただきますようお願い申し上げます。
そして、町民の皆様には、議会に
対して一層の関心をお持ちいただき、
ご指導とご鞭撻をいただきますよう
お願いいたします。

結びに、町民の皆様がご健勝で笑
顔が絶えない素晴らしい年になりま
すよう心からお祈り申し上げます。新年
のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認、同意】

議案		議案	
補正予算	3年度一般会計補正予算（第7号）専決処分	条例改正	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
	3年度一般会計補正予算（第8号）専決処分		国民健康保険税条例の一部改正
	3年度一般会計補正予算（第9号）		国民健康保険条例の一部改正
	3年度一般会計補正予算（第10号）		国民健康保険条例の一部改正
	3年度代替バス運送事業特別会計補正予算（第1号）		議会会議規則の一部改正
人事	教育委員会委員の任命同意（1件）	議員発議	議会の議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正
	人権擁護委員候補者の推薦（1件）		総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査
他	過疎地域持続的発展計画		

請願・陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択の理由
中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう、働きかけることを求める請願書 提出者：幸福実現党鳥取県本部 代表 広瀬雅章 紹介議員：升井 祐子議員	趣旨採択 (※)	採 択 升井祐子 不採択 寺垣智章	※ 趣旨採択という委員会審査結果に異議があったため、初めに採決に賛成の者を諮り、過半数に達しなかった。次にあらためて趣旨採択に賛成の者を諮り、初めに採決に賛成した者も趣旨採択に賛成し、趣旨採択に賛成の者が過半数に達した。
鳥取県に竹島を不当に占拠する竹島問題の早期解決に向けた取り組みを求める請願書 提出者：幸福実現党鳥取県本部 代表 広瀬雅章 紹介議員：升井 祐子議員	趣旨採択 (※)	採 択 升井祐子 不採択 寺垣智章	
鳥取県内に放射性廃棄物の最終処分場を建設させない議会決議のための陳情書 提出者：反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 其山 将範	不採択	不採択 橋本 恒 升井祐子 森田洋子 吉田保雄 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 澤 治樹 柳 正敏 退 席 田中克美	放射性廃棄物の最終処分場の建設においては、地元自治体の意見を聴き、十分に尊重することが法律に定められており、地元の意向を尊重して慎重に選定している。
放射性廃棄物を生む原子力発電の停止を求める意見書提出に関する陳情書 提出者：反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 其山 将範	不採択	採 択 吉田保雄 田中克美 不採択 橋本 恒 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 澤 治樹 柳 正敏	エネルギー構成比の激変は社会的混乱を招く原因になりかねず、現状の社会構造からして現実的ではない。
保育所などの最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書 提出者：鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	趣旨採択 (※)	採 択 升井祐子 田中克美	※ 趣旨採択という委員会審査結果に異議があったため、初めに採決に賛成の者を諮り、過半数に達しなかった。次にあらためて趣旨採択に賛成の者を諮り、初めに採決に賛成した者も趣旨採択に賛成し、全員一致で趣旨採択となった。

討 論

中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう、働きかけることを求める請願書

(趣旨採択)

採択 (升井祐子議員)
地方でも声を上げることが政府の問題解決の後押しをする。

鳥取県に竹島を不当に占拠する竹島問題の早期解決に向けた取り組みを求める請願書

(趣旨採択)

採択 (升井祐子議員)
竹島問題に一番影響があるのは町もそうだが、県の問題でもあり、鳥根県と組んで問題を解決すべきだ。

放射性廃棄物を生む原子力発電の停止を求める意見書提出に関する陳情書

(不採択)

採択 (田中克美議員)
①原発は、一たび重大事故が起これば放射能汚染は極めて甚大、②節電や再エネ導入を進めることで十分に賄うことが

きる、③原発と人類は共存できない、④自然エネルギーを柱にした政策に切り替えることは十分可能。この4点の理由で採択だ。

不採択 (森田洋子議員)

再生可能エネルギーを主力電源とするには、まだまだ課題があり時間がかかる。

電源構成を考えれば、再稼働の否定と早急セ口は困難である。

保育所などの最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書

(趣旨採択)

採択 (田中克美議員)
今政府が動き出したときに当たって、抜本的な改善を求めるといふ声を上げることこそ大事だ。

趣旨採択 (寺垣智章議員)

陳情が求める抜本的な改善に関して、国は既に取り組みを始めており、意見書を提出するまでもない。

議員の異動

辞職許可

杉村宏議員の辞職を3年9月30日で許可しました。

議員補欠選挙

田中伸吾議員が3年11月14日に当選しました。

常任委員会、議会運営委員の指名・選任
総務教育常任委員会
田中伸吾

議会運営委員会
吉田保雄 (副委員長)

人事 (敬称略)

教育委員会委員の任命に同意しました。

任期は、3年12月27日から4年間です。

小谷 節子 (浦富)

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。
松本 琢己 (大谷)

一般質問

8議員が町政を質す^{ただ}

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

12月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項(通告書のまま)
橋本 恒	6	1 人口減少対策の具体策は 2 疾病予防にワクチン接種を
吉田保雄	7	1 冬季、積雪時の学童通学路及び学校・保育所周辺の除雪作業について 2 町内在住の高校生の通学費補助について 3 無くならない“ゴミのポイ捨て”の現状を改善し、きれいな町内にする取組について
柳 正敏	8	1 長戸町政においての本町発展に向けた施策を伺う
森田洋子	9	1 投票しやすい環境の整備について 2 コロナ禍の観光と経済対策について
川口耕司	10	1 米価下落に伴う経営維持対策について 2 燃料高騰に伴う農業・漁業者支援について
宮本純一	11	1 町政運営の課題について 2 有害鳥獣捕獲後の処理負担の軽減について
田中克美	12	1 認知症対策としての難聴者支援について 2 国民健康保険税の子どもの均等割について 3 同性パートナーシップ制度の制定について
升井祐子	13	1 除雪体制の拡大を 2 岩美病院に食堂をつくってはどうか

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、3月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

家屋新築などに助成の新設・拡充を

橋本 恒議員

町内事業者への支援充実も考えたい

長戸町長



橋本 恒議員

橋本 町長は、本町の一番の課題は人口減少だと言われているが、人口減少の現状認識はどうか。

町長 自然減と社会減で、前回の国勢調査より約6%減少しており、人口減少は続いている。

橋本 結婚と妊娠出産を望む町民へ支援をどう進めるのか。

町長 結婚支援は、民間事業の利用を支援している。

不妊治療は国の保険適用になるようだが、対象者の負担が増えないよう、必要な支援を行いたい。

橋本 本町に住み続けていただくための定住対策をどう考えているか。

町長 町民の暮らしやすさや、満足度を高めていくことが重要。仕事は町外で、住居は町内という形の住宅対策も一つの考えだ。

橋本 移住者の住居支援は家賃支援を望む声が多いが、支援の拡充や新設は考えていないか。

町長 子育て世代に対する民間アパートの家賃助成なども検討したい。

町長 ニーズはその世代ごとに違っている。それぞれの階層ごとに意見を聞き、新しい子育て施策を検討したい。

橋本 高齢者が健康で長生きされることが必要。平均寿命と健康寿命延伸のための取り組みはどうか。

町長 病気の早期発見のため、検診の受診しやすい環境整備を行っている。

地域における健康づくり推進事業なども実施している。



岩美道路浦富インター付近の新しい住宅地

橋本 移住対策はベッドタウンをめざすが現実的だと考える。岩美道路インター付近などの造成や家屋新築に助成する考えはないか。

町長 住宅新築に助成を行っており、昨年、この制度を利用して55人の転入があり、一定の効果はあったと思う。今後は造成や、町内事業者への支援充実も考えたい。

高校生のインフルエンザワクチンに助成を

橋本 恒議員

今のところ高校生の助成は考えていない

長戸町長

橋本 「風しん対策（第5期）事業」の検査受診率とワクチン接種率は。

町長 検査受診率は32.8%、うちワクチン接種者は33.5%だ。

橋本 この事業は来年3月31日が期限だが、まだ3分の2が未受診だ。切迫感や危機感が伝わらぬような広報が必要だと思いが、広報ができていないと考えるか。

町長 結果的に、勧奨の効果は十分ではなかった。

橋本 子宮頸がん（HPV）ワクチンが8年ぶりに積極的勧奨されるが、副反応の訴えもあり正しい情報で、メリットとリ

スクを知らせることが必要。周知や勧奨をどのように行うのか。

町長 接種券に、メリットとデメリットが分かる資料を同封させたい。

橋本 HPVワクチン定期接種の対象年齢は小学校6年〜高校1年相当だが、学校の性教育の中で学習しないか。

寺西教育長 性教育で、HPVワクチンを取り上げることはない。

橋本 小児の特別医療費助成は18歳までなのに、インフルエンザワクチン接種支援が中学生まででは整合性が取れない。接種支援を高校生相当まで延ばすべきだ。

町長 今のところ、インフルエンザワクチン接種支援を、高校生相当まで延ばす考えはない。

学校周辺なども町が除雪を

吉田 保雄議員

例年同様の協力をお願いしたい

長戸町長



吉田 保雄議員

吉田 早朝の除雪作業は保護者の負担が大きい。通学路や学校周辺の除雪も町ができないか。

町長 保護者などの協力には感謝している。通勤や通学に支障が起きないような除雪に重点を置いており、学校周辺などの除雪は、例年同様の協力をお願いしたい。

吉田 この冬は強い寒波の予報だが、除雪は町民の要望にかなっていない。かたたり、通学路、学校や保育所周辺は保護者やボランティアに頼っている所も多い。今年の除雪計画はどうか。

町長 バス路線などと集落を結ぶ道路を、町保有の3台と町内事業者の9台で対応する。

また、学校には除雪機1台を配備し先生に除雪をお願いし、保育所は町職員が除雪をする予定だ。



保護者によるボランティア除雪（西小学校）

高校生の通学費全額補助を

吉田 保雄議員

全県的な課題と考える

長戸町長

吉田 過去2回、一般質問で高校生の通学費補助拡充を提案したが、町村長会など県に要望するという答弁であった。

高校生の通学費補助は十分とは思えない。町の場合はどうか。

町長 町単独での補助拡充は難しい。

引き続き、県に制度の拡充をお願いしていきたい。

吉田 若美高校は、公共交通が脆弱なため、徒歩や自転車、家用車の送迎などで登下校している生徒も多い。

自転車や徒歩通学などに通学費補助をする考え

はないか。また、子育て支援の環境として、若美駅から1キロ以上通学している高校生全員に通学費補助をすべきと考えるがどうか。

町長 もともと、高校生の通学費助成の考え方は、公共交通機関の利用を前提に、町内のどこに住んでいても、通学費の負担が変わらない、ということ。

公共交通機関を利用していない生徒への通学費助成や補助を拡充する考えは持っていない。

吉田 高校入学後3か月間は通学費を全額補助しているが、対象家庭に行き渡っているか。

町長 中学校卒業前の保護者に案内し、毎年4月の町広報紙やホームページで改めて制度の周知をしている。

また、年度中途にも、未申請者に通知している。対象者全員に補助が行き渡っていると認識している。

吉田 本町が教育の町として、他の自治体に先駆けて、高校生の通学費全額補助を実施することは、子育て環境充実の上でも重要だと考えるがどうか。

町長 実施する限りは続けることが大事。全県的な課題として、

県内の町村と歩調を合わせながら、県に制度の拡充してもらい、その仕組みの中で補助の拡大を検討したい。

その他の質問

無くならない。ゴミのポイ捨て、の現状を改善し、きれいな町内にする取り組みについて

新町政をどう進めるか

柳 正敏議員

町民の意見を聞き施策づくりに取り組む

長戸町長



柳 正敏議員

町長 一本数が少ない、運営が高い、利便性が悪い」という意見をたくさんいただく。

町内移動を、まず解決し、圏域を考えていく思いを持っている。
改めて研究したい。

柳 町外者の移住・定住を促進するため、各種部門の地域おこし協力隊の増員をさらに図るべきだと思うが。

町長 町で抱える課題に外部から人材が来ていただけなのであれば、積極的に地域おこし協力隊を募集し、町の活力の源になっていただきたいと思います。

●子供たちの笑顔のために
柳 少子化の中で、今後、子育て支援充実のため、時代に適応した対策が必要である。

町長 町民から意見をいただき、新しい施策づくりに取り組む。
スマートフォンなど電子機器類に、町の持っている情報を発信して、情報を取捨選択していく仕組みを取り入れたい。

柳 国の「GIGAスクール構想」で小・中学生に1人1台のタブレットを配布され、学習への活用が進んでいる。
今後のICT教育をどう進めていくべきと考えるか。

町長 観光事業者の意見を先ず汲み上げたい。
また、インバウンドの受入れ体制を整えていくことも重要だ。

柳 町内産業の継続・発展を図るための各産業の担い手、後継者の確保が急がれる。

町長 今ある産業を残し、継続させていくことは行政として取り組むべき重要な課題だと認識をしている。
Uターンの若者にも目を向けながら、本町で事業を継承したり、後継者になる仕組みも検討して、事業展開できるものから取り組みたい。

●安全・安心のまちづくり
柳 集落のコミュニティの維持、それぞれの集落にあった、皆で助け合う仕組みづくりに向けた具体的な施策はどうか。

町長 集落の規模、高齢化率で町が行うさまざまな施策の負担は、それぞれの集落の規模に合った形で支援を行う。

また、地域共生社会の実現に向けた相談支援体制の充実を図りたいと考えている。

さらに、自主防災組織の立ち上げ、支え合いマップづくりの支援を継

町長 必要な制度と認識している。
制度として続けることを前提とし、改良を加える部分があるのではないかと思う。

●少子高齢社会の中のみちづくり

柳 特に高齢の方への交通の利便性向上は急務である。

現状をどう捉え、対応していくのか。



町民の意見を伺う長戸町長

●産業の振興
柳 観光資源豊かな本町において、さらなる発展をめざすためにも、観光施策の充実は不可欠である。
今後の観光振興にどう取り組まれるのか。

移動期日前投票所の開設を

森田 洋子議員

視察を踏まえ検討したい

村島選挙管理委員会書記長



森田 洋子議員

森田 12月7日より長戸町長が就任し、町政がスタートした。

11月14日の町長選挙の投票率は58・41%と前回は12ポイント下回った。低い投票率をどう考えているか。

長戸町長 町長選挙そのもの、町政そのものに関心が薄かった。

町政に関心をお寄せいただくことを使命とした。

森田 投票率の低さは、何が問題か。

森田 大羽尾集落は、国道を渡り、小羽尾集落の公民館に投票に行っている。

安全確保のため、車の送迎をしないか。

選管書記長 車での送迎は考えていない。

森田 投票所の統合による代替案として、自動車を利用した期日前投票所（移動期日前投票所）を開設している自治体がある。島根県浜田市の間部も行っている。今後、移動期日前投票所を考えないか。

選管書記長 浜田市へ視察を計画している。視察を踏まえて、検討したい。

本町独自の観光キャンペーンを考えては

森田 洋子議員

財源を含め研究したい

長戸町長

森田 自宅から1〜2時間程度で移動できる近隣地域内の旅行として、マイクローリズムという旅行形態がある。

いわみ地域クーポンがそつた。昨年に続き2回目だが、町内事業者の反応はどうか。

町長 130の事業者の登録があり、現在1回目を上回り、3分の1強の換金が終わっている。1回目と同様、大変に喜ばれている。

森田 マイクローリズムの事例として、県のWeLove鳥取キャンペーンがある。

本町に効果があったのか。

町長 町内の登録事業者は20社で、2100人程度の宿泊があり、一定の効果はあったと認識している。

森田 マイクローリズムの近距離圏観光は、複数訪れることで経済効果があるようだ。

本町独自のWeLoveキャンペーンは考えないか。

町長 非常に効果があると感じる。財源的な手当ても含めて研究したい。



移動期日前投票所（島根県浜田市）



米価下落に伴う経営維持対策を

川口 耕司議員

関係機関と連携し取り組みたい

長戸町長



川口 耕司議員

を支援することが必要だ
と思うが、所得補償につ
いてどう考えているか。

町長 29年度までであった
直接支払交付金制度の復
活を望む声があることは
承知をしているが町単独
では難しい。

県、関係団体とも相談
し、来年の作付けに向け
支援をしたい。

川口 農家の生産意欲を
喚起するためには、米の
生産費を賄える価格の保
証、また所得補償で農業

川口 3年産米の概算金
は60キロで1万円を下
回った。

概算金の大幅な下落が
農家に与える経済的な影
響について、どのように
認識しているか。

町長 本町の3年産米の
JAの集荷は約3万袋で、
町内で一番作付けの多い
コシヒカリで、30キロ当
たり1200円下落して
いる。

3600万円の影響が
あったと思う。

概算金の下落は、かな
りの農家に影響が出てい
ると思う。



3年産米の刈取り風景(洗井地内)

川口 今後さらなる転作
が必要になると思うが、
飼料米に転換した場合、
主食用米程度の収入は見
込めるか。

町長 米は3年間で精算
される仕組みとなつてお
り、平均反収512キロ
で収入は約11万4000
円と試算をしている。

3年産米で試算すると
8万7000円となる。

飼料米については平均
反収500キロで転作に
係る交付金を足して7万
9000円となり、飼料
米のほつが安くなる。

川口 転作物物に対し町
として独自に支援、補助
金を増額するなどの考え
はないか。

町長 本町の水田に合っ
た転作物物がないという
状況は大きく進展してい
ない。

町独自に白ネギに70
00円交付している。

国の4年度に向けた新
しい対策の情報が入って
きていないが、3年産米

下落の経営の影響も含め
転作の対応について関係
機関と連携をして取り組
みたい。

川口 産地交付金は市町
村独自の裁量でできるも
のか。

飯野産業建設課長 産地

交付金については、町の
農業再生協議会において
支払い品種、作付け品種
で金額を決定すること
なっている。

燃油高騰に伴う対策を

川口 耕司議員

価格保証補填制度で対応

長戸町長

川口 燃油高騰はあらゆる
分野に大きな影響を与
えている現状がある。

農業、漁業者の燃料に
おいても生産力減退につ
ながりかねない。

それぞれ継続して経営
ができる環境を整える対
策が必要ではないか。

町長 原油価格の高騰に
ついて、町内のさまざま
な産業に影響を与えてい
ることは認識している。

農業分野では、施設園

芸農家を対象にした価格
保証補填をする仕組みが
ある。

水産業では、漁業者と
国が資金を積み立てて、
燃油高騰に対して一定の
基準を超えたとき価格が
補填される制度がある。

町内全ての底引き網漁
船が加入している。
水産業については、大
きな影響はないと認識し
ている。

有害捕獲獣の処理体制を示せ

宮本 純一議員

施設整備の方向性を示したい

長戸町長



宮本 純一議員

宮本 有害鳥獣の捕獲状況、捕獲従事者、獣害による被害額はどれくらいか。

町長 イノシシは、前年度と同数の509頭、シカは、900頭程度を見込んでおり、捕獲従事者は64名、銃猟者は8名で、被害額は、前年並だ。

宮本 膨大な捕獲頭数だが、処分については、捕獲従事者の負担となっていると思うがどうか。

宮本 本町に合った適切な処理体制を早急に示すべきではないか。

町長 待たなしの状況と認識しており、きちんと方向性を示したい。

職員の不祥事防止のルールが必要

宮本 純一議員

ぜひ検討して作りたい

長戸町長

宮本 選挙戦で町内を歩かれた中で、どのような現状、課題を認識したか。

町長 空き家が非常に多いと感じた。

空き家登録、撤去も含めた放置されない仕組みづくりが必要だ。

高齢者世帯が増え、これまでの助け合いの仕組みや後継者の確保などを感じた。

宮本 前町長の町政を継承される中で、見直す部分はありますか。

町長 これまで進めてこられた町政は多くの町民にご支持いただいているものと認識している。

町民の声を伺いながら、施策で不足することがあれば、課題について真摯に見直しを行いたい。

宮本 課題として職員不祥事防止への取り組みがあると思うが、議会が報告した「職員の不祥事に関する調査報告書」を、行政の長となった現在ど

う受け止めているか。

町長 不祥事が立て続けに発生し、議会が再発防止に向け取りまとめ、調査報告されたことは、非常に重たいことと認識している。

職員の綱紀粛正、服務規律について、職員に職務の自覚を徹底したい。

宮本 不祥事が発生する前の小さな兆候に対応することが防止につながることを考える。

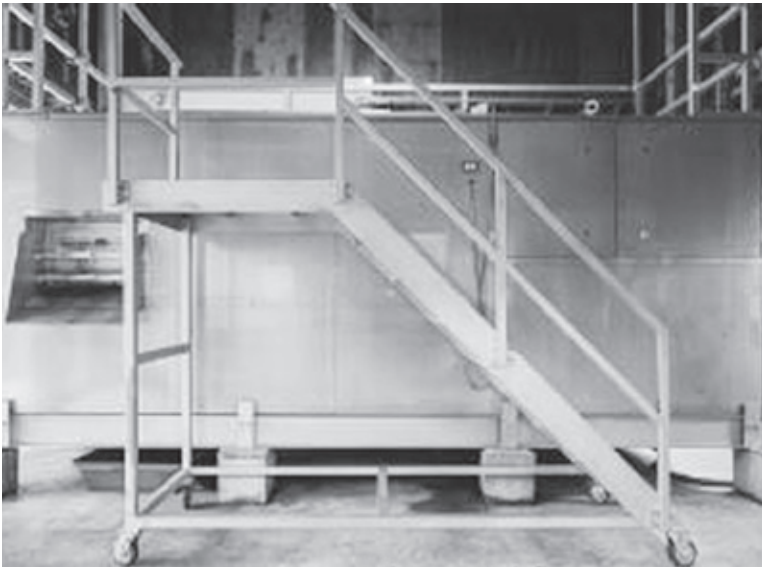
そのためには、兆候管理が重要だ。

行動指針を策定し行動することは、町政が適正適切に運営されることへの町民の安心の担保となる。

職員の不祥事が発生しないためのルール作りに取り組まないか。

町長 町民から信頼される職員となるためには、不祥事防止に取り組む意識をもっていかなければならない。

ぜひ検討して作ってほしい。



鳥獣処理の減容化施設（福島県富岡町設置）

難聴者を支援する仕組みを

田中 克美議員

実態把握して施策を考えたい

長戸町長



田中 克美議員

田中 前町長は、毎年4月に行う介護予防に関するアンケート調査で難聴者や補聴器の実態を把握したいと答弁した。来年のアンケート調査で難聴者や補聴器の実態を調査するか。

町長 調査項目を追加して調査する。

田中 アンケートは要介護認定を受けていない人を対象にしたもの。難聴者の実態把握には、要介護認定を受けていない人だけの調査ではなく、高齢者全員を対象に調査することが必要だ。

町長 全高齢者の実態をあらためて把握したい。

田中 高齢者の難聴で問題なのは、音は聞こえるが会話、人の言葉が聞き取れないことだ。音の聞こえを検査する純音聴力検査だけでなく、言葉が聞き取れる状態を検査する語音聴力検査をやってはどうか。

町長 研究させてほしい。

田中 アンケート調査を皮切りに、難聴の早期発見、難聴者支援、軽度の難聴から予防に補聴器を使用できるよう、経済的支援も含めて仕組みをつくることを提案する。

町長 実態把握して必要な施策を考えたい。

田中 明瞭な言葉を「脳」に届けることで、相手の

言葉が聞こえるスピーカーシステムがある。病院や役場窓口などで補聴器を持たない難聴者が、会話を聞き取れる対

話支援システムの導入を提案したい。

町長 事例を研究してみたい。



病院は会話をききとることが必要な場所の一つ

未就学児の均等割全部を減額に

田中 克美議員

制度の欠陥を国に認めさせたい

長戸町長

田中 22年4月から、国保税の均等割額のうち未就学児分の半分を国、県、町で公費負担することになった。

応能原則と子育て支援から、公費負担にならない部分を、町独自に減額する決断を。老人医療費無料化を国

の制度にするきっかけは旧沢内村の決断だった。町ができることを決断することが、県・国を動かすうえで大事だ。

町長 国・県がやるべきだという前町長の考えと同じだ。

同性パートナーシップ導入の議論を

田中 克美議員

町民の認識を高めることを重点に

長戸町長

田中 一般質問した元年9月当時、導入自治体は25だった。今年10月1日では5県125市町村、人口の4割を超えた。その後、東京都が導入を決めたので、人口の5割を突破する。

性的少数者は8%と推計され、町に当てはめると約800人となる。

前町長は、「町民の理解が進んでいない。制度導入より理解を深めることが必要」述べた。

同性パートナーシップ制度の設計と制定への行程を、町民に示してこそ、わがごととして議論できる。

武蔵野市は、導入の方向で検討しているが、制定を急がずさまざまな論点で議論を積み重ねている。制度設計を入り口に、議論を進めてはどうか。

町長 町民の認識の状況を考えると、情報提供しながら、5年度になるが、認識を持っているか確認していききたい。認知度を高めていくことを重点にしたい。

各集落に小型除雪機の配備を

升井 祐子議員

助成制度を利用して欲しい

長戸町長



升井 祐子議員

升井 今季は大雪が予想されるが、除雪に関する町民の要望は高い。今季の除雪の計画は。

町長 バス路線や国道、県道と集落を結ぶ幹線道路など主要な路線を除雪する。

升井 出動の積雪基準は。

町長 朝の3時に新雪が10センチ、断続的に降雪が見込まれる場合は5センチで出動をする。

升井 町の職員が行う部分と業者に委託する部分

で対応されるよう、推進してはどうか。

町長 地域での除雪作業が円滑に行えるよう、助成制度を設けている。

元年度より、町独自の支援策として、地元負担軽減措置を設け、集落の世帯数や高齢化率により、6分の1、12分の1の負担で購入できる。

小型除雪機については、一般財団法人 自治総合

センターのコミュニティ助成事業（宝くじ助成）の利用も案内している。

升井 燃料代や部品代の補助はあるか。

また、集落内の問題として家が立ち並んでいて、雪かきにしても、雪の捨て場がないという問題がある。

その時の対応はどうか。

町長 小型除雪機については、燃料代や保険代、上限金額を設け支援する。

排雪処理については、町内事業者へ委託をする。と経費助成制度もある。

升井 運転手の人手不足なら、トラクターを使用する人たちに免許を取ってもらうことは考えられないか。

町長 免許取得の経費の助成をし、現在22名が除雪作業に従事することになっている。

引き続きオペレーターの確保の支援を継続したい。

升井 新潟県では、除雪のアイデアコンテストを開催し、除雪道具などさまざまなアイデアが、たくさん寄せられている。

本町でも、除雪作業をより安全に、楽に進める生活の知恵として、腰を痛めにくい雪のかき方、屋根から雪を効率的に下ろす方法、排雪方法などのアイデアコンテストを

してみてもどうか。

町長 地域の除雪活動が少しでも解決するのなら、町民の幅広い意見は何としてみる必要がある。アイデア募集については、取り組んでみたい。

その他の質問

岩美病院に食堂をつくってはどうか



共助による集落内除雪（小田地内）

議会だより150号 記念特集



議会だより150号記念 議長あいさつ

議会議長 足立 義明

町民と議会を結ぶ「議会だより」が昭和59年7月の創刊以来、数えて第150号という大きな節目を迎えました。第150号記念特集にあたり、町民の皆様には厚く御礼申し上げます。

そして、創刊当時の編集委員の先輩方の苦勞を思い浮かべながら感慨ひとしおでありますと共に、第150号記念特集のごあいさつをさせていただきます。ける幸せに感激しております。

「議会だより」は、町の合併30周年を契機に創刊されて以来、議会活動を町民の皆さんに周知し理解を深めていただくため年4回の発行を議員中心に手作りで行い、今号まで積み重ねてまいりました。この第150号という数字を目的の当たりにし、改めて編集委員の先

輩方に敬意と感謝を申し上げます。と思います。

第150号を迎えるまで、年号も昭和から平成、そして令和へ変わり、議員定数も22人から12人となり議会を取り巻く環境も大きく変化して

いく中、町単独自立の道の選択（平成15年）、小学校の統合（平成4年、13年）、若美すこやかセンター業務開始、公共下水道浦富処理区供用開始（平成16年）、給食の直営化（平成18年）、中学校校舎の建替（平成21年）、ケーブルテレビ網の整備（平成22年）、駒馳山ハイパス開通（平成26年）などの重要課題に真剣な議論を重ねてまいりました。

この記念特集では、議会改革の歩みを掲載しております。

町単独自立の道の選択を契機とした議会改革が

始まって10年以上の年月が経過しました。今も多くの自治体議会が開かれた議会の表現に向けて、あるべき議会の姿を模索し続けています。

町議会も今なお、決して歩みを緩めることなく、議論を重ねております。どうぞ、ご覧いただき、議会へのご意見を遠慮なくお聞かせいただけたらと願います。

また、内外の情勢はまさに厳しさを増しつつあり、我々の議会活動の在り方や議会の審議内容を報告し、一層のご理解と信頼をいただきたいと念願しております。第150号を契機としまして議会の使命と議員の責任を自覚し、さらに努力に励み、町民の付託と期待に応えていきたいと存じます。

今、議会による広報公聴活動は、改めてその重

要性が認識されてきています。広報紙、ウェブサイト、意見交換会の開催など、町民と議会を結ぶ手段は拡充されている中、議会広報の品質向上という課題を掲げ、より一層読みやすい、親しみやすい「議会だより」をめざし、今後も諸先輩方の良き伝統を引き継ぎつつ、

さまざまな新しい手法も取り入れながら、議員一同努力してまいります。結びに、今後ともご愛読のほどお願い申し上げますとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。第150号発行にあたってのごあいさついたします。



100号(H21)



50号(H9)



創刊号(S59)

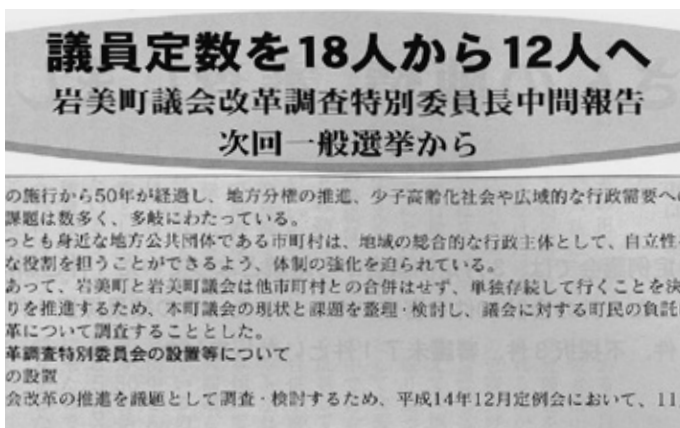
前期議会までの「改革」の取り組み

定数削減を優先した 平成17年「改革」

「厳しい財政状況が見込まれ、…議会の経費の削減を行う…。議員定数の削減を優先して、思い切った削減をすること。」

（特別委員会中間報告）

●アンケート調査で町民の意見を聞くことが議論されたが多数意見になりませんでした。



議会だより76号



現在録画放送はユーチューブでも

平成22年、無投票を受け、改革に着手

定数が12名にもかかわらず、町議選初の無投票となったことは衝撃でした。町民からも議会批判の声が上がりまし

た。そうした声も受けて、特別委員会を設置し、一般質問の録画放送など議会の見える化に取り組みました。

平成14年(2002年)

- 7月 ・ 議会改選（定数18）
- 12月 ・ 議会改革特別委員会（11名）設置

平成15年(2003年)

- 6月 ・ 議員定数削減を決定（6名削減し12名に）
- 10月 ・ 合併せず単独自立を続けることを決定

平成16年(2004年)

- 6月 ・ 一般質問に一問一答式を導入
- 9月 ・ 本会議傍聴者に議案及び説明資料を貸出
- 10月 ・ 議会モニター制を導入

平成17年(2005年)

- 1月 ・ 各種審議会・委員会等の委員への議員の就任辞退を決定

- 6月 ・ 議会ホームページを開設
- ・ 会議録検索システムを導入

平成18年(2006年)

- 7月 ・ 議会改選（定数12）

平成22年(2010年)

- 7月 ・ 議会改選（定数12 初の無投票）
- 9月 ・ 議会改革特別委員会を設置
- ・ 一般質問の録画放送を開始

平成23年(2011年)

- 4月 ・ 議会事務局に専任職員を配置
- 6月 ・ 全員協議会を「正式な協議の場」と位置付け

年12月議会に始まった の可視化 ② 議員力向上

今期の取り組みを通して
大事にしてきたこと

取り組みのスタートは、報酬審議会の答申への対応の検討でした。検討に当たっては、議員報酬について自治法上の規定、研究者の論文、全国議長会の報告書、先進的な議会の報告書などを参考に、勉強と議論を行いました。議会と議員の存在意義、求められている活動やあるべき姿などに、立ち戻りながら議論することを大事にしました。



令和3年12月8日一般質問力向上研修会



平成31年4月22日一般質問力向上研修会

検討にあたっては、「議会内部に関わることの改革」と「公開など町民との関係に関わることの改革」の2本立てで進めることを基本にしてみました。

2本のどちらの課題に関わらず、制度や仕組みの改革が、最終的には議会と議員個々の質問力や政策提起の力の向上として実を結ぶことを心がけてきました。

1期目議員の勉強会、質問力の研修に取り組んできたのは、そうだった思いからです。

平成23年(2011年)

8月・全員協議会の協議事項の録画放送を開始

平成25年(2013年)

5月・議員定数は12を維持することを確認

平成26年(2014年)

7月・議会改選(定数12)

平成30年(2018年)

6月・報酬審議会に議員報酬を諮問
7月・議会改選(定数12)
11月・報酬審議会が報酬改定を答申
12月・議員報酬特別委員会を設置

平成31年(令和元年)(2019年)

2月・一般質問力向上めざし研修会を開催
・特別委員会4回の審議で答申受け入れ、執行留保を決定

4月・一般質問力向上めざし研修会を開催
6月・議会活動の在り方特別委員会に改組
10月・1期目議員の勉強会開始(2月まで8回)
12月・議員報酬についての検討を開始
・一般質問の録画をホームページでYouTubeによる放送を開始

令和2年(2020年)

3月・施政方針演説と一般質問の生放送を岩美町チャンネルで開始
10月・議員活動の実態調査を実施

今期の改革は、平成 30 改革の方向は— ① 議会

報酬と議会・議員の活動を検討

全国議長会の報告書を土台に、報酬支給対象となる議会活動・議員活動の範囲を定める議論を重ね、岩美町議会における議会活動・議員活動に該当する範囲を確定しました。

それに基づいて議員活動の実態調査

を行いました。引き続き、議員報酬額を算定して町民との意見交換に臨む方針でした。

しかし、コロナ禍のなかで報酬額の議論は困難との判断で、報酬額算定に進みませんでした。



令和2年12月23日自治会の正副会長と意見交換会

前進を示す 2つの変化

過去2回の議会改革論議のなかでは、「住民との意見交換会を」「質問力向上の研修を」との声は、多数派にならないで採用されませんでした。

今期は、意見交換会でも研修会でも、一人の異議もなく実施できました。とりわけ、12月8日に行った一般質問の研修は、講師の土山教授と議員全員の前で自分の質問にチェックが入るといっていましたが、8議員が挑戦しました。

この2つの変化は、3年間の取り組みの成果をしめしていると考えられます。

12月
・自治会の正副会長と意見交換会
・議案審議の進め方について再検討を開始

令和3年(2021年)

- 1月
・岩美まちづくりの会と意見交換会
- 2月
・町民と議会の意見交換会
- 6月
・議案審議の進め方を試行・検証
- 9月
・議案審議の進め方を試行・検証

・一般質問以外の本会議
(請願陳情含む全ての議案審議)の
生放送を開始

・議案及び説明資料を議会初日にホームページにアップ

・議員報酬特別委員会、議会活動の在り方特別委員会の議事録をホームページにアップ

- 12月
・一般質問力向上めざし研修会を開催
・議案審議の進め方を試行

魅力ある議会にするために、議会と議員の努力でできることに挑戦します。町民の声を行政に反映する努力をつらぬく、政策提言できる力をもつ議会・議員をめざして進みます。

新成人に 聞きました



成人式実行委員会の皆さん

1月9日、岩美町成人式が、64名の新成人の出席のもと、挙行されました。

全国で新型コロナウイルスの感染が急拡大する中、感染対策の徹底や新成人のみと入場制限をして行われたものの、晴天の下、参加者は喜びをかみしめました。



森本 龍ノ介さん
(浦富地区)

私は現在、看護学校に通っており将来的には東部地区の病院での就職を考えており、岩美町の方々の健康を守る1人の医療従事者として貢献したいと考えています。

今年は学生最終年となり、実習の日々となるため、様々なことを学び地獄の実習を乗り切れるようがんばりたいです。



河口 真里奈さん
(東地区)

私は今、幼稚園教諭になるために、県外で多くの刺激を受けながら保育分野について学んでいます。2022年度は大学3年生となり、実習が始まります。

私にとって、挑戦、発見が増えるとともに、悩み、苦しむ場面も多くなる一年だと思っていますが、将来の夢に向かって努力していきます!!



藏永 愛久さん
(浦富地区)

私は岩美町の皆さんが大好きです。昔、草むしり中の近所のおばあさんにカブトムシはいませんかと尋ねたことがあります。後日、そのおばあさんがわざわざ家に来てカマキリとカミキリムシが入った袋をことづけてくれました。

私はその温かさとお茶目さを今でも忘れません。岩美町サイコー!!



澤 佳汰さん
(大谷地区)

僕の将来の夢はお金持ちになって岩美に帰ってくることです。なので、数年後に帰ってくることはたぶんないと思います。

これから大阪でたくさん勉強して、またいつか岩美町を変えられるくらいの力をつけて帰ってきたいと思います。



中山 樹さん
(大谷地区)

成人式間近に、コロナが急激に増え、開催が心配されましたが、関係者の皆さまのおかげで無事開催でき、成人としての第一歩を踏み出すことができました。

将来は、世界で活躍できる職に就き、岩美町と世界をつなぐ架け橋となれるよう、さらに勉学に励みます。Thank you for your cooperation. I am not afraid of failure and will always keep challenging.



濱野 航さん
(浦富地区)

私は成人式で同級生のみんなと会うことができ、とても楽しかったです。加えて、実行委員として成人式に参加したことで、達成感もありました。

今後は、今までお世話になった岩美町に恩返しができるように日々全力で頑張りたいと思います。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	【発行責任者】
升井	森田	吉田	寺垣	川口	柳本	橋本	田中	足立	
祐子	洋子	保雄	智章	耕司	正敏	克恒	義明		

田中克美

ゆっくりかもしれませんが、前に進むことを確信しています。

振り返って変化を感じる一番は、以前の議会では賛成が得られなかった「住民との意見交換」や「質問原稿を検討材料にした研修」に、全員が賛成したことです。勉強と議論を積み重ねた3年間の努力のたまものです。

みました。

振り返って変化を感じる一番は、以前の議会では賛成が得られなかった「住民との意見交換」や「質問原稿を検討材料にした研修」に、全員が賛成したことです。勉強と議論を積み重ねた3年間の努力のたまものです。

編集後記

議会だよりは今年で150号となりました。また今年7月に議会改選を迎えます。150号記念の思いも込めて、岩美町が自立持続の道を選んでから今期までの、改革の歩みを振り返る特集ページを組みました。